

第1学年 国語科

1. 国語って何を勉強する教科？

国語の学習は、社会の中での活動や文化活動の基本となる、言葉を通して伝え合う力を養うものになります。国語の最も基本的な役割は、言葉や文字によって気持ちを伝え合い、コミュニケーションを成立させることです。その力をつけるためには、まず言葉について興味・関心をもって読むこと・書くことの学習に取り組み、言葉に関する知識を広げることが大切です。日常生活のいろいろな場面をとらえて、言葉を磨いてほしいものです。さらに、情報化社会といわれる中でさまざまな情報を収集し、分析し、活用することも必要です。

全ての教科学習の基礎となる国語の力は、すぐ身につくようなものではありません。自分を取り巻く毎日の生活や学習、体験から次第に育まれていくものです。学校生活や授業の中で、話す、聞く、書く、読む活動を大切にして、国語の力を伸ばしていきましょう。

2. 学習の仕方

○授業の中で大切にしてほしいこと

- ・習った漢字は、必ず使いましょう。
- ・読めない漢字は、必ず読み仮名をふりましょう。（覚えれば消しても良いです。）
- ・自分が後からみてわかりやすいノートにしましょう。
→授業内容をノートにわかりやすくまとめ、自分の考えや友達の意見などをメモしましょう。大切だと思ふことは書き加えたり、色ペンを効果的に使いましょう。
- ・質問に対して、自分なりの答えを出せるように考えましょう。
→わからないからといって、他の人が答えるのを待つのではなく、自分のことばで考えるようにしましょう。
- ・積極的に質問したり、発表するときと、しっかり聞くときのけじめをつけるようにしましょう。

○家庭学習で取り組んでほしいこと

- ・短い時間でも、毎日の授業の復習をしましょう。（ノートやプリントの見直しなど）
- ・文学的文章も説明的文章も、基本はよく読むことです。教科書を、何度もはっきりと声を出して読みましょう。（目、耳、口を使うことで効果があります。）
- ・意味のわからない語句は、国語辞典で意味を調べて確かめておきましょう。
- ・漢字は自主ノートや漢字練習帳等を使って、一画一画を丁寧に書きながら、繰り返し練習して身につけましょう。最後にテスト形式で確認してみるとよいでしょう。
- ・教科書に沿った問題を解いてみましょう。
- ・新聞を読んだり、テレビでニュースを聞いたりする習慣をつけましょう。
- ・時間を見つけて、読書をするように心がけましょう。
- ・漢字検定にチャレンジして、漢字力を伸ばしましょう。
- ・国語の問題集で、いろいろな問題を解き、読解力をつけましょう。

3. 一年間の学習内容と目標

国語科の目標

- ・国語についての知識を深め、話す方法、聞く方法、書く方法、読む方法を身につけよう。
- ・語彙を増やし、語感を磨こう。

		※目標を達成することができたら○をつけ、自己評価しましょう。	1学期	2学期	学年末
話す	(1)	目標① 相手や目的をはっきりさせ、最後まで話すことができる。			
		目標② 自分の伝えたいことを速度や声の大きさに注意して話すことができる。			
		目標③ 言葉の調子や間の取り方に注意して、適切な言葉遣いで話すことができる。			
		目標④ 話す内容や順序を工夫して、相手の反応を見て話すことができる。			
聞く	(2)	目標① 相手を見て話を最後まで聞くことができる。			
		目標② 話された事柄を聞き取ることができる。			
		目標③ 話の中心を聞き取ることができる。			
		目標④ 自分の考えと比べながら、共感、疑問、反論などを整理して聞くことができる。			
書く	(3)	目標① 自分の気持ちや考え、発見したことを書き表すことができる。			
		目標② 伝えたい内容を理解し、段落をつかって書くことができる。			
		目標③ 伝える内容や相手に応じ、形式や表現を工夫して書くことができる。			
		目標④ 自分の書いた文章を読み直し、よりよい文章に書き直すことができる。			
読む	文学的文章	目標① 文章全体を正しく音読することができ、あらすじや登場人物をとらえることができる。			
		目標② 場面ごとの描写をもとに、登場人物の心情や情景をとらえることができる。			
		目標③ 登場人物の心情や情景描写から作者のものの見方や考え方を読み取ることができる。			
		目標④ 作者のものの見方や考え方に対する自分の考えをもち、表現することができる。			
	説明的文章	目標① 文章全体を正しく音読、話題をとらえることができる。			
		目標② 文章の構成や展開をとらえることができる。			
		目標③ 要旨をとらえ、根拠を示しながら筆者の意見や主張をとらえることができる。			
		目標④ 筆者の意見や主張に対する自分なりの意見をもち、表現することができる。			
	古典	目標① 現代仮名遣いと歴史的仮名遣いの違いがわかる。			
		目標② 歴史的仮名遣いに注意して、正しく音読することができる。			
		目標③ 古語の意味に注意して、文章のおおよその内容がわかる。			
		目標④ 現代の私たちのものの見方や考え方に、古典の世界が生きていることがわかり、さらに古典の世界に親しもうとする。			
言葉事項	(5)	目標① 習った漢字を文や文章の中で使うことができる。			
		目標② 単語の種別について理解し、指示語や接続語及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意することができる。			
		目標③ 比喻や反復などの表現の技法について理解することができる。			
		目標④ 話や文章の中の語句について関心をもち、語句の辞書的な意味と文脈上の関係性に注意することができる。			

4. 評価の観点・内容及び評価方法

<p>知識 技能</p>	<p>定期テストで学習内容を十分理解できる。 漢字の読み書きができる。 語句や文法事項を理解できる。(古典を含む) ていねいに文字を書くことができる。(硬筆・毛筆) ☆(4)読むこと(5)言語事項</p>
<p>思考 判断 表現</p>	<p>人の話を聞いて内容を理解し、自分の考えを持つ。 聞く人にわかりやすいように意見を言ったり、スピーチをしたりできる。 話し合い活動にしっかりと参加し、意見交換できる。 感想を書いたり、意見を書いたりできる。 作文や詩・短歌・俳句を創作できる。(正確に・豊かに) 文章を読んで、内容を理解できる。 理解した内容にふさわしい音読ができる。 理解したことや考えたことをノートにまとめることができる。 ☆(1)話すこと(2)聞くこと(3)書くこと</p>
<p>主体的に学習に 取り組む態度</p>	<p>先生・友達の話聞く態度、発表、提出物、ノートへの意欲、忘れ物、作品・作者への 関心などを総合的に評価する。 ☆(1)話すこと(2)聞くこと(3)書くこと(4)読むこと(5)言語事項</p>

☆定期テストだけでなく、普段の小テストや授業中の取り組み・提出物などを見て、総合的に評価がつきます。毎日の学習を大切にしましょう。